

みやき町学校施設長寿命化計画

令和2年3月 策定

令和8年3月 改訂



みやき町



みやき町学校施設長寿命化計画

— 目 次 —

第1章	学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1	背景	1
2	目的	2
3	計画期間	2
4	対象施設	3
第2章	学校施設の目指す姿	5
1	学校施設の目指すべき姿	5
第3章	学校施設の実態	8
1	学校施設の運営状況・活用状況等の実態	8
2	対象建築物の整備状況	10
3	今後の維持・更新コストの把握（従来型）	11
4	施設の状態・評価方法	13
5	内部仕上げ・電気設備・機械設備	24
第4章	劣化状況評価結果	25
1	給食センター	26
2	小学校	27
3	中学校	45
第5章	学校施設整備の基本的な方針等	60
1	学校施設の規模・配置計画等の方針	60
2	改修等の基本的な方針	63
第6章	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	68
1	改修等の整備水準	68
2	今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）	70
3	維持管理の項目・手法等	71
4	基本方針の決定	エラー! ブックマークが定義されていません。
第7章	長寿命化の実施計画	74
1	改修等の優先順位付け	74
2	実施方針	75
3	実施計画	75
4	計画期間内の整備内容	76
第8章	長寿命化計画の継続的運用方針	77
1	情報基盤の整備と活用	77
2	推進体制等の整備	77
3	フォローアップ	78
4	フォローアップの推進	78

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1 背景

みやき町（以下、「本町」という。）の公共施設等は、昭和40年頃から60年頃にかけて建設されたものが多く、今後、老朽化が進行し、一斉に改修・更新の時期を迎えます。

日本は全国的に深刻な人口減少問題を抱えています。本町においても人口が減少傾向にあり、今後も人口減少・少子高齢化が急速に進行することが見込まれています。さらに、扶助費等の社会保障費の増加、生産年齢人口の減少による税収の減少など、今後、ますます厳しい財政運営を強いられることが懸念されているため、これまでと同様の公共施設等の維持管理・運営や建替えにけることができる財源が限られてくることが予想されます。

本町では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として「みやき町公共施設等総合管理計画（改訂版）」（以下、「総合管理計画」という。）を令和5年3月に策定し、限られた財源の中で、施設を安全・安心に利用できるよう、また、適正な規模や配置等により、住民サービスの維持・向上が図れるよう取り組みを進めているところです。

総合管理計画では、学校施設として、総延床面積54,956㎡を有しており、延床面積で見ると、全ての町所有公共施設の36.3%を占めています。特に施設の劣化が急激に進行するといわれる築30年を経過した施設が多くを占めていることから、現状のまま保有し続けると、今後、約15年の間に多くの小中学校で耐用年数が到来することが見込まれ、老朽化対策が喫緊の課題となっています。

学校施設は、未来を担う子供たちが日常の多くの時間を過ごす教育施設であり、安心・安全で快適な教育環境の整備が求められます。また、地域住民にとっては行事等を通じて交流が行われる身近な公共施設であり、災害時には避難所としての重要な役割を果たすなど、防災面での機能も期待されています。今後はさらに、環境負荷の低減やユニバーサルデザインといった多様化するニーズへの対応が迫られ、改修・更新にかかる費用の増大が見込まれます。

2 目的

「みやき町学校施設長寿命化計画」（以下、「本計画」という。）は、この総合管理計画に基づき、学校施設の個別施設計画として、学校施設を対象に現地調査を踏まえて現状の評価を行い、ライフサイクルコスト、保全優先度等を勘案しつつ、今後の維持保全の方向性を検討し、外壁、屋根、防水などの部位別や学校別の優先順位を考え、整備内容、時期、費用等の具体的な計画を策定することを目的とします。また、特に老朽化が進んでいる学校施設（北茂安小学校、中原小学校、合計2棟）を対象に耐力度調査を行い、建物躯体の健全度の評価をします。

本計画に基づき、学校施設の長寿命化を図ることにより、トータルコストの縮減と平準化を図り、厳しい財政状況においても計画的に保全を実施することで、長く安心・安全な学校施設を維持するとともに、多様化する教育環境へ対応していきます。

3 計画期間

総合管理計画は、公共施設の寿命が数十年に及び、中長期的な視点が不可欠であることから、平成29（2017）年度から令和28（2046）年度までの30年間の将来推計に基づき策定するものとしています。

本計画では、総合管理計画に則して、全体計画は30年間と位置づけます。その上で、令和2（2020）年度から令和11（2029）年度までの第1期の中間見直しとして、令和7（2025）年度に再検討を行います。

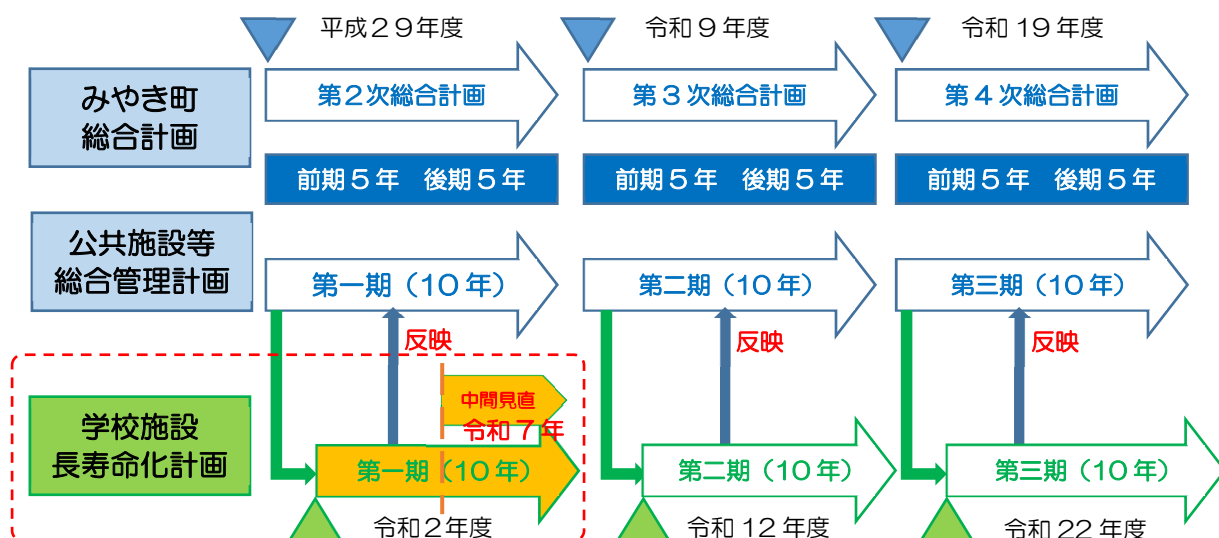


図 本計画の期間

4 対象施設

(1) 学校施設の保有量

総合管理計画によると、本町が保有する公共施設（ハコモノ）の総延床面積に対し、学校教育施設（全施設）は令和5年3月時点で、36.3%を占めています。

表 大分類別 延床面積

大分類	延床面積 (㎡)	割合
町民文化系施設	3,155.8	2.1%
社会教育系施設	682.2	0.5%
スポーツ・レクリエーション系施設	11,179.0	7.4%
産業系施設	2,876.3	1.9%
学校教育系施設	54,955.7	36.3%
子育て支援施設	3,101.9	2.1%
保健・福祉施設	11,041.5	7.3%
行政系施設	16,375.8	10.9%
公営住宅	46,007.4	30.5%
公園	239.1	0.2%
その他	1,267.0	0.8%
合計	150,881.7	100.0%

また、更新費用の縮減に向けて、施設除去を視野に入れた個別施設計画も策定されました。令和3年度の施設保有量で、個別施設計画の方針を取り込んだコスト試算によると、計画年間40年間として令和36（2054）年までの更新費用総額は、462.9億円（年平均11.57億円）となっています。

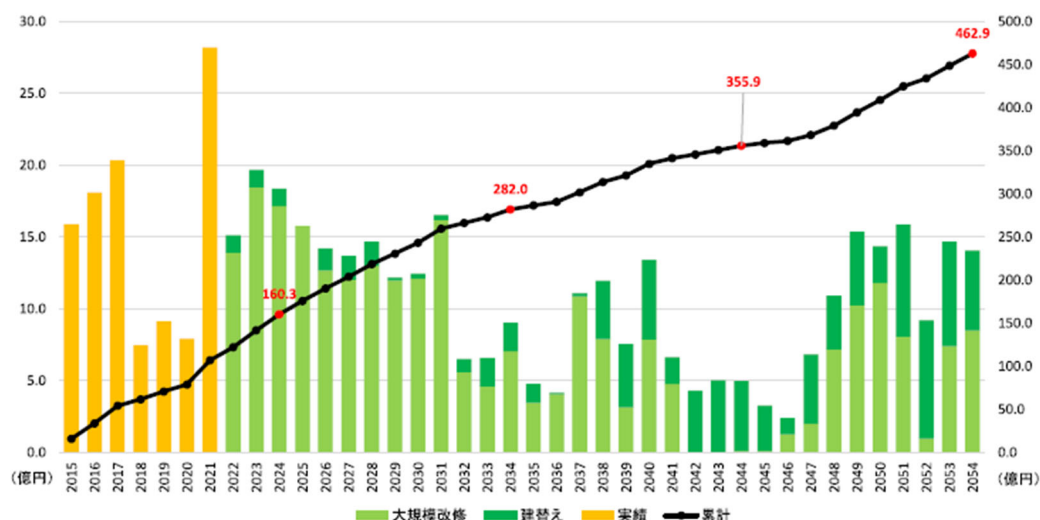


図 総合管理計画試算 資産更新必要額

(2) 対象施設

本計画の対象施設は、学校施設として保有している以下のとおりとします。

表 対象施設

学校施設	学校施設名	所在地
小学校	三根西小学校	みやき町大字寄人 1385
	三根東小学校	みやき町大字天建寺 2400
	中原小学校	みやき町大字原古賀 1364-2
	北茂安小学校	みやき町大字東尾 420
中学校	三根中学校	みやき町大字市武 1661
	中原中学校	みやき町大字養原 1475-9
	北茂安中学校	みやき町大字東尾 4435
学校給食共同調理場	学校給食センター	みやき町大字天建寺 1143-5

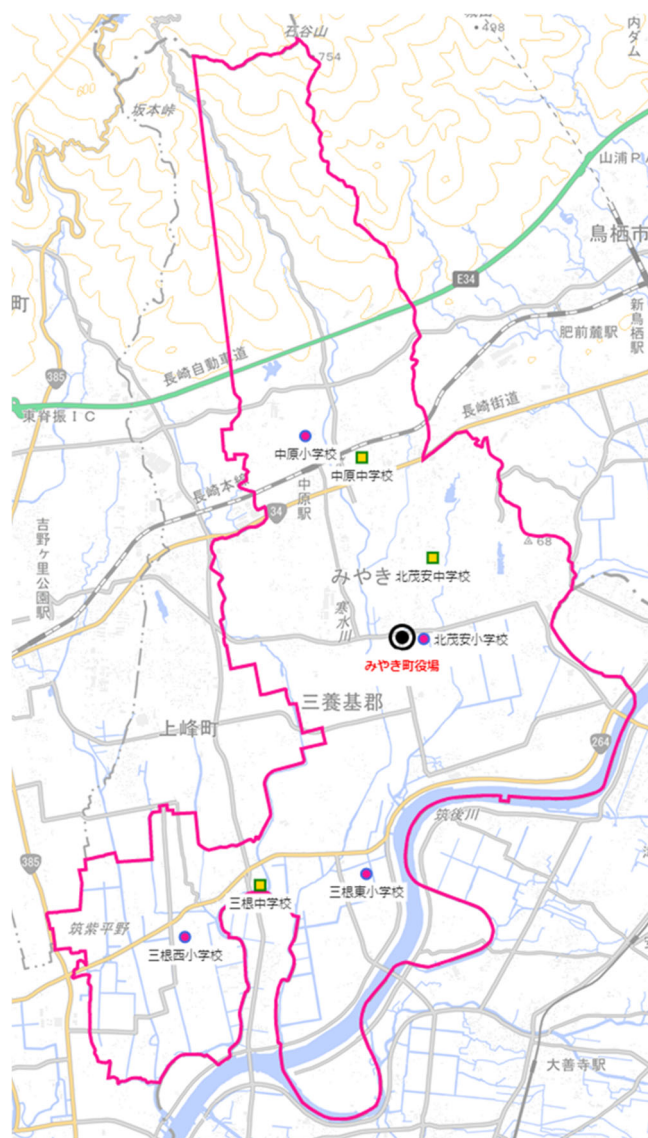


図 学校施設配置図

第2章 学校施設の目指す姿

学校施設の整備においては、施設の状態を把握し、施設の適正管理による維持・長寿命化を推進することが必要です。

施設の維持・長寿命化においては、安全面を中心とした老朽化対策が必要となります。老朽化が進み、劣化を見過ごすと軒下のモルタルの落下やタイルの落下等が発生する可能性があり、非常に危険な状態となります。

以下、学校施設の目指すべき姿について示します。

1 学校施設の目指すべき姿

(1) 安全性の高い施設で地域の拠点も兼ねる

学校施設は、子ども達が通う施設であるとともに、緊急時には避難所等として地域の住民が活用する施設でもあります。学校を地域に対して開く場合は、同時に不審者等の侵入対策も重要になります。安全・安心な施設にするため、現在整備済である防犯カメラや警察への通報設備等のハード面の最良化と、学校・保護者・地域の協力等によるソフト面での取り組みを検討する必要があります。そのためには、以下の視点で施設の維持を心がける必要があります。

- ① 地震に強い学校施設
- ② 防災機能を備えた学校施設
- ③ 防犯・事故対策
- ④ 安全で安心な学校施設
- ⑤ バリアフリーに配慮した環境
- ⑥ 地域に開かれた学校とするための環境
- ⑦ 地域の生涯学習の拠点となる学校施設

(2) 快適性

学校施設の本来の目的は「学ぶ」空間の維持です。それには、子ども達が快適な学習環境の中で「学ぶ」ことができる空間を維持する必要があります。

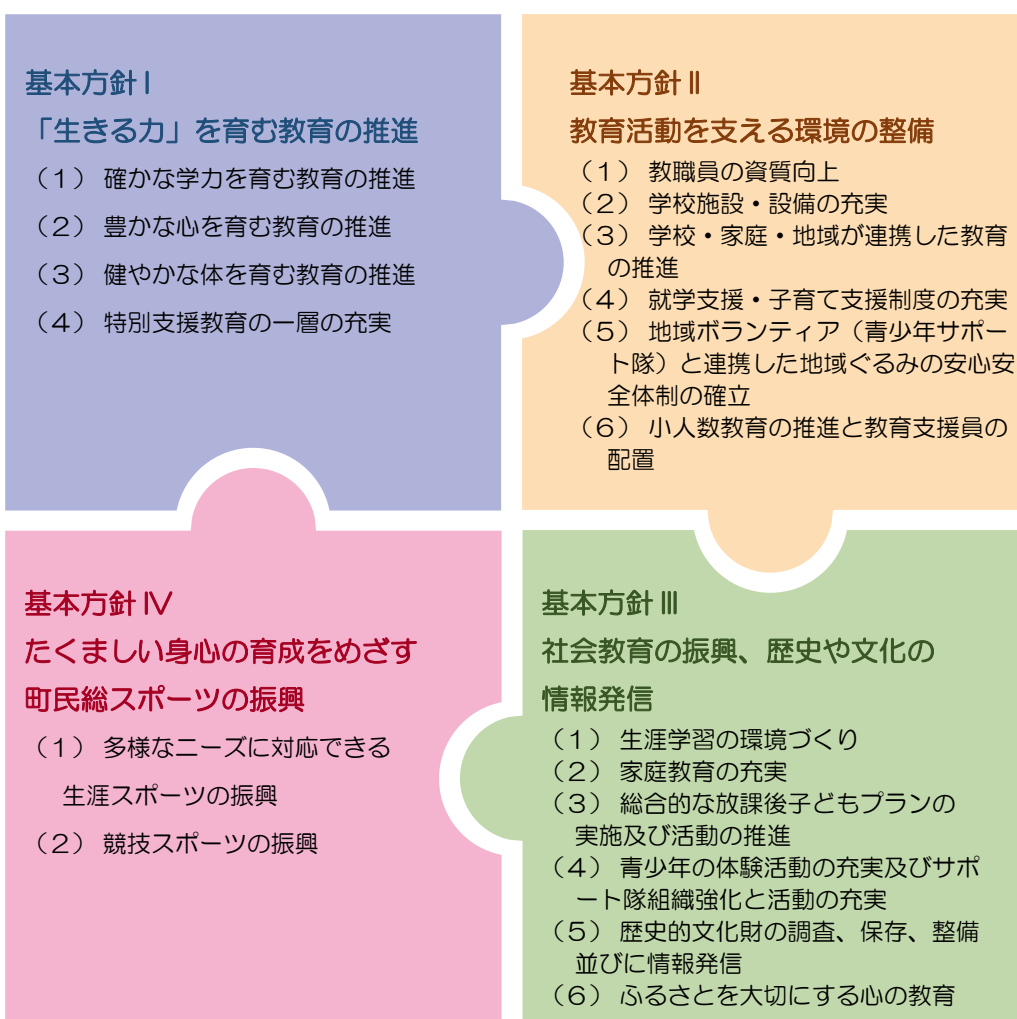
- ① 学習能率の向上に資する快適な環境
- ② 児童・生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校
- ③ バリアフリーに配慮した環境

(3) 学習活動への適応性

学校における教育方法は学級単位の一斉授業から、習熟度別学習やチームティーチングといった少人数での学習など多様な形態を取り入れる方向に向かっています。社会のグローバル化や、パソコンや携帯電話などの情報機器を日常的に使用する生活スタイルへの変化に応じて、学校における情報教育の重要性も高まっています。本町の学校施設は、こうした教育・学習のニーズに十分に対応した施設であることも重要です。

- ① 主体性を養う空間の充実
 - ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
 - ・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間
 - ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間
 - ・社会性を身に付けるための空間
- ② 効果的・効率的な施設整備
 - ・習熟度別指導や少人数指導等の、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間

さらに本町では、次の図に示すような4つの教育基本方針を掲げています。



4つの教育基本方針の一つ「基本方針Ⅱ」の中で「(2) 学校施設・設備の充実」を挙げていますが、その中で、さらに具体的に次のように示しています。

【学校施設・設備の充実】

多様な個に応じた教育と、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成のため、ゆとりと潤いのある教育施設の整備充実を図ります。

児童生徒が一日の多くを過ごす生活の場として、また、個性や創造性を伸ばす学習の場として、安全・安心な学習環境の整備を図るとともに、教育内容の高度化や指導方法の多様化など時代のニーズに応じた施設・設備の充実に取り組みます。

また、知識基盤社会化やグローバル化に対応した子どもたちの育成と教育の質の向上を図るために、情報活用能力の育成と情報機器の効果的活用及び公務の情報化を実現するための教育ICT環境の整備をさらに進めるとともに、快適で適切な稼働環境の確保を図りつつ、適切な維持管理に努めます。

第3章 学校施設の実態

1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 児童・生徒数の推移及び推計

本町の小学校児童数は、2014年の1,222人から微増を続け、2025年は1,501人となっており、2026年に1,514人のピークに達すると予想されます。中学校生徒数は、2014年の673人から微減を続けたが、2020年以降は微増に転じ、2025年に646人に達し、これからも増加が続きます。これに併せ、小学校の学級数は2020年まで横ばいで推移していましたが、2023年以降特別支援学級数の急増により増加傾向に転じ、中学校の学級数も2025年で増加しています。

表 児童数・生徒数推移・推計（2026年以降は推計値）

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
小学校児童数	1,222	1,222	1,206	1,219	1,231	1,246	1,289	1,303	1,357	1,389	1,460
中学校生徒数	673	678	650	615	597	588	589	599	598	609	610

年	2025	2026	2027	2028	2029	2030
小学校児童数	1,501	1,514	1,507	1,504	1,435	1,350
中学校生徒数	646	664	682	700	731	779

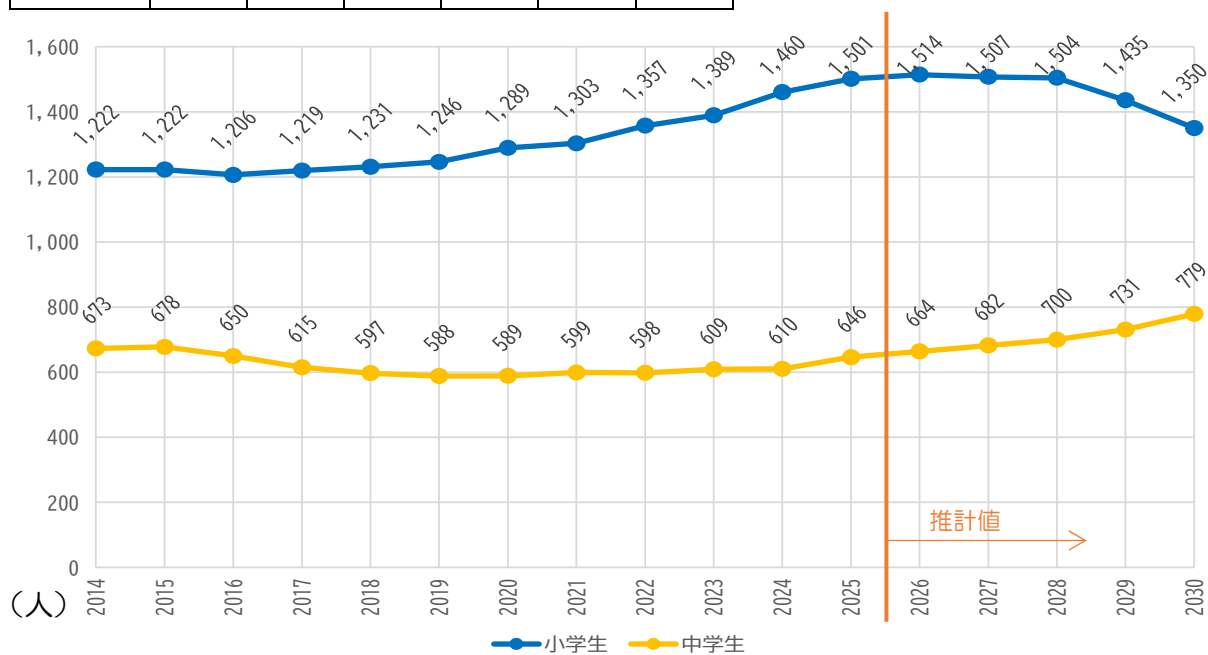


図 児童数・生徒数推移・推計（2026年以降は推計値）

資料：庁内資料

第3章 学校施設の実態

表 学級数及び1学級当たりの児童数・生徒数推移

項目	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
小学校学級数	51	51	54	53	56	50	56	53	57	69	78	78
中学校学級数	27	27	27	28	28	25	26	23	26	28	26	32
1学級あたり 児童数	24.0	24.0	22.3	23.0	22.0	24.9	23.0	24.6	23.8	20.1	18.7	19.2
1学級あたり 生徒数	24.9	25.1	24.1	22.0	21.3	23.5	22.7	26.0	23.0	21.8	23.5	20.2

※上記の試算で採用された学級数・児童生徒数には特別支援学級の学級数・人数が含まれています。

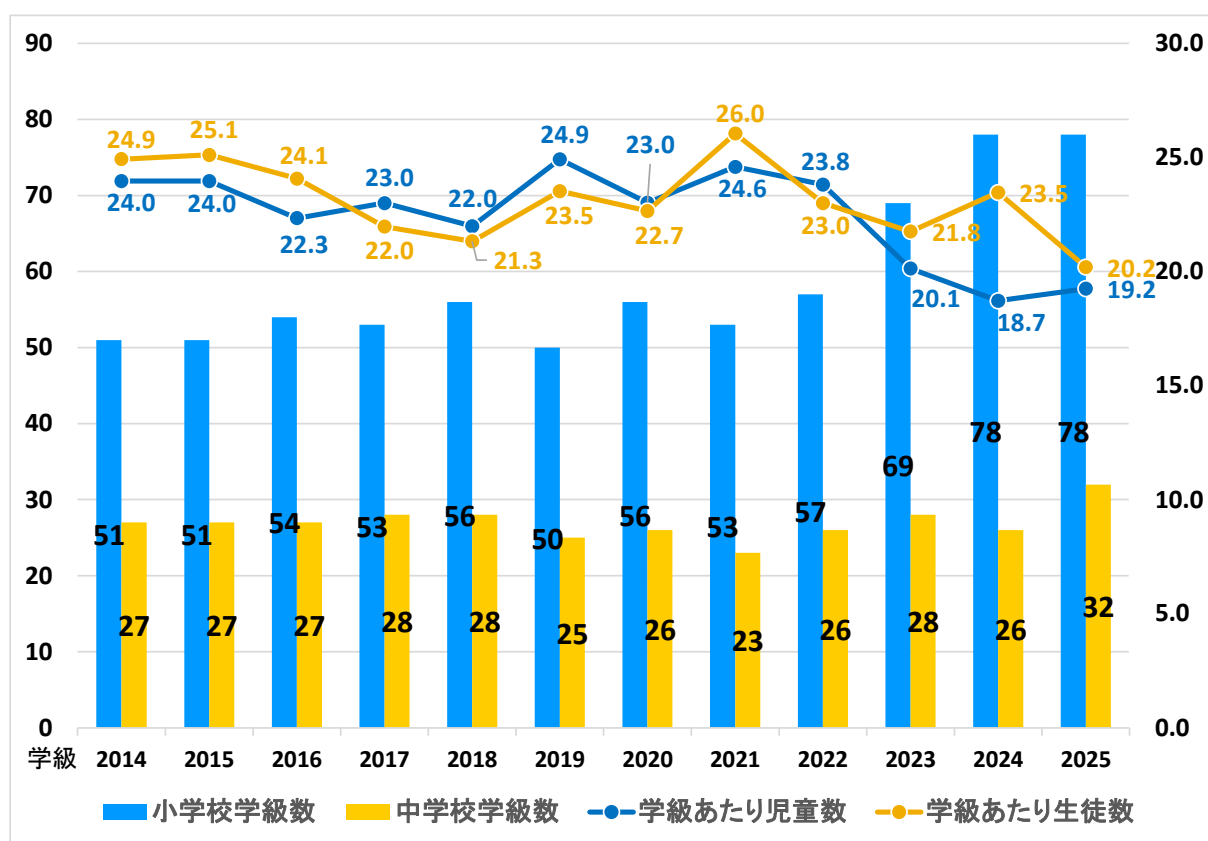


図 学級数及び1学級当たりの児童数・生徒数推移

出典：庁内資料

第3章 学校施設の実態

2 対象建築物の整備状況

(1) 対象建築物一覧

本計画の対象建築物は、前述の8つの学校施設のうち、長寿命化事業によるコスト低減効果の薄い小規模の建築物を除く以下の34棟の建物及びプールを対象とします。

対象建築物の延床面積合計は、52,763㎡であり、総合管理計画に示す本町の学校施設全体の延床面積合計の約96%に当たります。

表 計画の対象建築物（棟単位）

No.	施設名	建築物	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	構造
1	給食センター	学校給食共同調理場	776	2004	21	鉄骨造
2	三根西小学校	普通教室・特別教室	3,322	1980	45	鉄筋コンクリート造
3		室内運動場	758	1987	38	鉄筋コンクリート造
4		プール	1,165	1966	59	運動場用等プール
5	三根東小学校	管理棟	927	1990	35	鉄筋コンクリート造
6		普通教室・特別教室棟	2,496	1973	52	鉄筋コンクリート造
7		屋内運動場	702	1972	53	鉄筋コンクリート造
8		プール	1,106	1962	63	運動場用等プール
9	中原小学校	屋内運動場	1,192	1972	53	鉄筋コンクリート造
10		特別・普通教室棟	3,985	1970	55	鉄筋コンクリート造
11		北教室棟	1,990	1977	48	鉄筋コンクリート造
12		給食室	270	1977	48	鉄骨造
13		プール	1,204	1978	47	運動場用等プール
14	北茂安小学校	講堂及び地域・学校連携施設	1,924	1991	34	鉄筋コンクリート造
15		管理棟・普通教室棟	1,841	1963	62	鉄筋コンクリート造
16		普通教室棟	1,407	1984	41	鉄筋コンクリート造
17		特別教室棟	2,055	1982	43	鉄筋コンクリート造
18		普通教室棟	1,842	1983	42	鉄筋コンクリート造
19		プール	1,275	1989	36	運動場用等プール
20	三根中学校	屋内運動場	1,485	2006	19	鉄筋コンクリート造
21		校舎	4,840	2008	17	鉄筋コンクリート造
22	中原中学校	玄関	234	1975	50	鉄筋コンクリート造
23		屋内運動場	1,447	1981	44	鉄筋コンクリート造
24		普通教室棟	2,368	1975	50	鉄筋コンクリート造
25		特別教室棟	2,520	1975	50	鉄筋コンクリート造
26		技術室棟	368	1979	46	鉄骨造
27		プール	1,256	1978	47	運動場用等プール
28	北茂安中学校	特別教室	250	1970	55	鉄骨造
29		屋内運動場	1,263	1975	50	鉄筋コンクリート造
30		特別教室棟	946	1980	45	鉄筋コンクリート造
31		普通教室・管理棟	2,132	1978	47	鉄筋コンクリート造
32		部室	300	1994	31	鉄骨造
33		普通教室棟	2,077	1979	46	鉄筋コンクリート造
34		プール	1,040	1985	40	運動場用等プール
合計			52,763			

※築年数は2025年度末（2026年3月末）現在

※延床面積200㎡以下の建物（ポンプ室、倉庫、小屋等）は調査対象外とする

※経過年数に着色があるものは旧耐震設計による施設と判断されるもの

(2) 対象建築物の整備状況

計画対象建築物の整備状況は下記のとおりです。

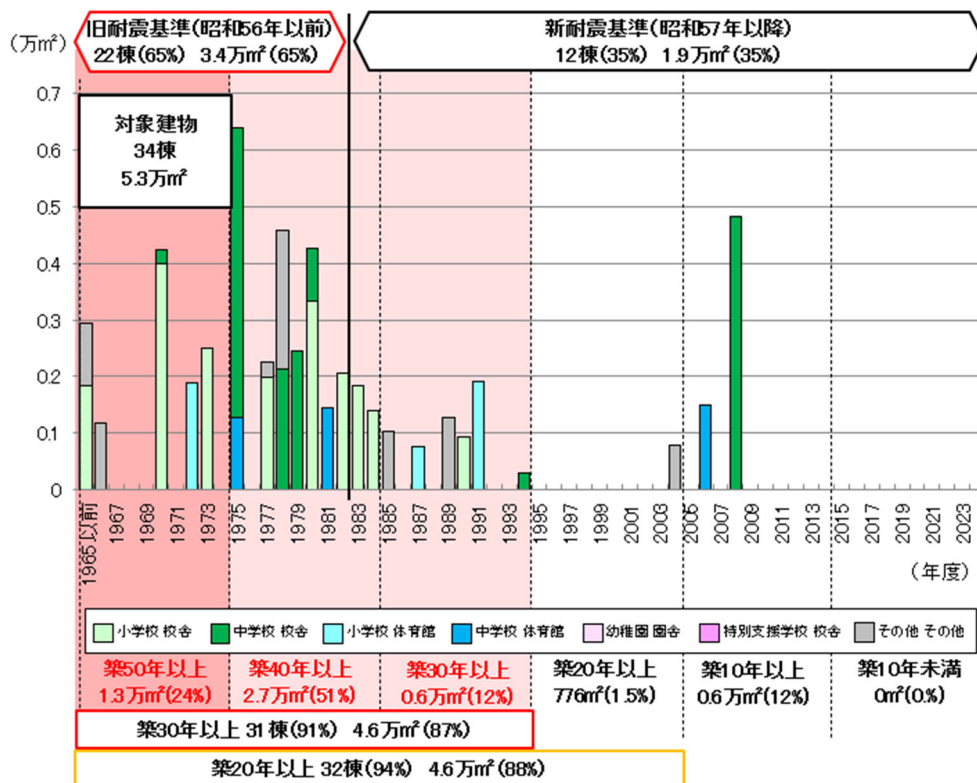


図 対象施設の整備状況

3 今後の維持・更新コストの把握（従来型）

過去6年間の施設管理費用は下記のとおりです。

表 過去6年間の学校施設関連経費（単位：千円）

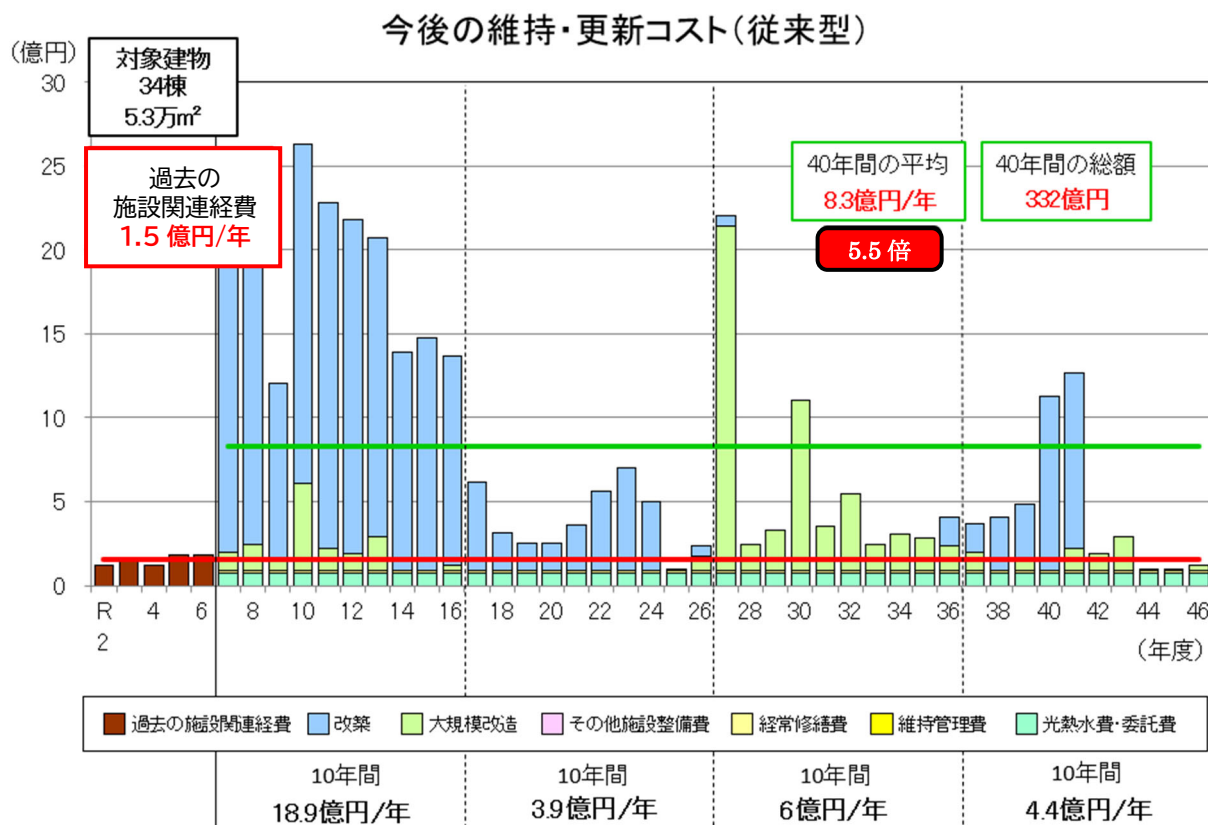
項目	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水道光熱費	27,336	28,536	32,888	37,362	34,913	39,440
修繕費	8,254	9,823	9,198	10,296	11,305	11,894
委託費	22,104	35,432	35,768	36,431	38,735	40,701
工事費	160,066	43,690	74,075	38,980	101,906	88,922
合計	217,760	117,480	151,929	123,070	186,859	180,957

出典：町内資料

第3章 学校施設の実態

本計画における長寿命化計画の対象建築物の維持・更新コストについて、文部科学省提供の試算ソフトにより、長寿命化を前提として試算した場合の結果は、以下のとおりです。

今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で 332 億円と試算され、1 年あたり約 8.3 億円の維持・更新コストが必要になると試算されます。



(設定条件)

更新周期：50年

改築単価：43万/㎡

大規模改修：20年周期

工事期間：1年

※ 上記のコスト試算に掲げる施設関連経費の平均金額は令和2（2020）年から令和5（2023）年までの4年間の平均です。

<健全度の算定>

健全度とは、各建物の部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。部位の評価点と部位のコスト配分を下表のように定め、健全度を100点満点で算定します。なお、部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改修事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定することが考えられます。下表は、同算定表における外装と建具（外部）を合わせて外壁とし、内装と建具（内部）を合わせて内部仕上げとし、機械設備に昇降機を含め、「長寿命化」の改修比率を屋根・屋上と外壁に按分しています。部位を追加・変更する場合は、適宜コスト配分を設定し直す必要があります。

表 部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

表 部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	4.2
外壁	14.9
内部仕上げ	21.3
電気設備	9.0
機械設備	16.6
合計	66

計算例：総和（部位の評価点×部位のコスト配分） ÷ 66（コスト配分合計）

表 計算例

部位	評価		評価点例		コスト配分		配分評価点	
屋根・屋上	C	→	40	×	4.2	=	168	
外壁	D	→	10	×	14.9	=	149	
内部仕上げ	B	→	75	×	21.3	=	1,598	
電気設備	A	→	100	×	9.0	=	900	
機械設備	C	→	40	×	16.6	=	664	
							計	3,479
								÷66
							健全度	53

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

（令和5年3月文部科学省）

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：屋根・屋上


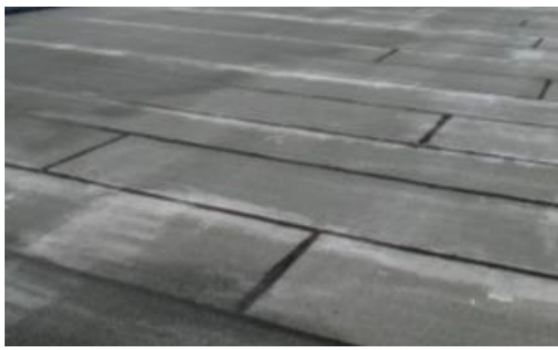


	評価	状態	現場写真例
アスファルト保護防水	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。	
	C	広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	
	D	広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：屋根・屋上

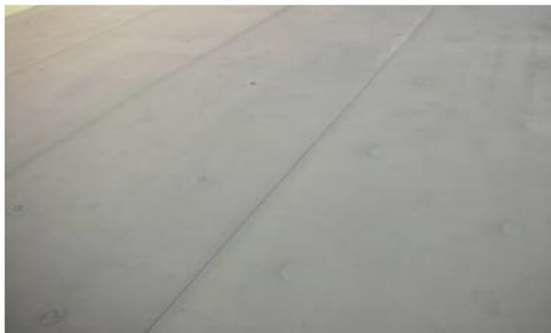



	評価	状態	現場写真例
アスファルト露出防水	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的に、ふくれ、変質（摩耗）、排水不良がある。	
	C	広範囲に、ひび割れ、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	
	D	広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：屋根・屋上


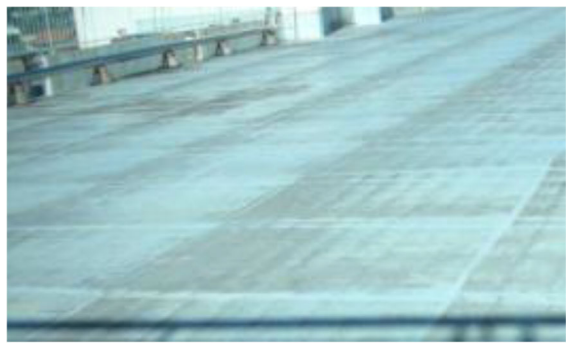

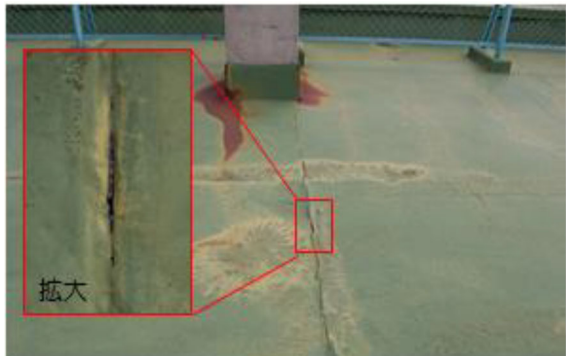
	評価	状態	現場写真例
シート防水	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的に、ふくれ、しわ、変質（摩耗）、排水不良がある。	
	C	広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	
	D	広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：屋根・屋上





	評価	状態	現場写真例
塗膜防水	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的にふくれ、しわ、変質 (スポンジ状)、排水不良がある。	
	C	広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	
	D	広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：屋根・屋上



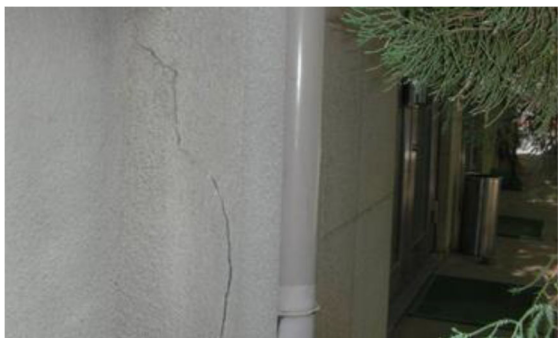

	評価	状態	現場写真例
金属板（長尺、折板、平葺き）	A	良好 （汚れている程度） （改修後 10 年以内）	
	B	部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金物のさびがある。	
	C	広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、取り付け金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、最上階天井に漏水痕がある。	
	D	広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

（令和 5 年 3 月文部科学省）

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：外壁

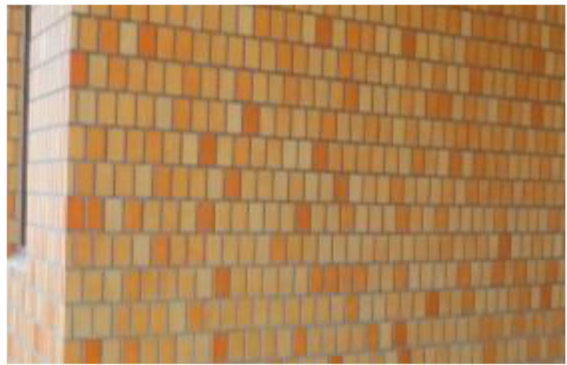

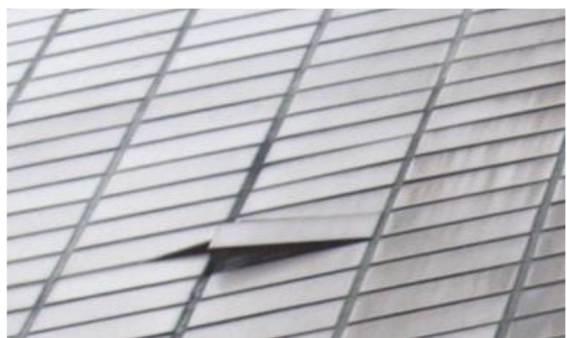

	評価	状態	現場写真例
塗りの仕上げ	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび汁がある。	
	C	広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・剥がれ・さび汁があり、小規模な漏水がある。	
	D	広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：外壁

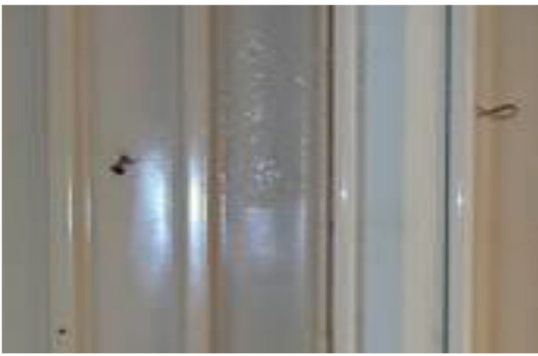

	評価	状態	現場写真例
タイル張り 石張り	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。	
	C	広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	
	D	広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：外壁





	評価	状態	現場写真例
金属系パネル	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。	
	C	広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	
	D	広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

第3章 学校施設の実態

表 評価基準：外壁

	評価	状態	現場写真例
セメント系パネル	A	良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	
	B	部分的に、ひび割れ・変質・欠損・シーリング材のひびがある。	
	C	広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	
	D	欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	

出典：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書

(令和 5 年 3 月文部科学省)

5 内部仕上げ・電気設備・機械設備

内部仕上げと設備は修繕・改修年からの経過年数を基本に4段階で評価します。ただし極端な劣化が見られる場合はC/D評価について確認します。

表 評価基準：内部仕上げ、電気設備、機械設備

内部仕上げ	C または D	<ul style="list-style-type: none"> ●床、壁、天井 ●内部開口部（扉、窓、防火戸） ●室内表示、手すり、固定家具 ●照明器具、衛生器具、冷暖房器具 	<ul style="list-style-type: none"> ●内部仕上げと設備機器について、該当建築物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 ●広範囲（25%以上の面積）または随所（5か所以上）に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることを目安とする。
電気設備	C または D	<ul style="list-style-type: none"> ●建築物内の分電盤・配線・配管（電灯・コンセント設備）（弱電設備） 	<ul style="list-style-type: none"> ●建築物内の分電盤・配線・配管について、該当建築物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 （対象外の工事の例） ・受変電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新（評価例） ・視聴覚室やコンピューター室などの改修（整備）はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価
機械設備	C または D	<ul style="list-style-type: none"> ●建築物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管 	<ul style="list-style-type: none"> ●建築物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建築物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 （対象外の工事の例） ・部分的な修繕等（評価例） ・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過してる場合は、C評価 ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価

第4章 劣化状況評価結果

第4章 劣化状況評価結果

簡易劣化調査による結果は以下のとおりです。

表 劣化調査結果一覧表

番号	施設名	建物名	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
1	給食センター	学校給食共同調理場	B	B	B	A	A	85
2	三根西小学校	普通教室・特別教室	A	C	C	C	D	36
3		室内運動場	B	C	B	B	B	67
4		プール	C	C	C	C	D	32
5	三根東小学校	管理棟	A	B	B	B	B	77
6		普通教室・特別教室棟	A	B	C	C	D	44
7		屋内運動場	A	B	C	C	D	44
8		プール	C	C	C	C	D	32
9	中原小学校	屋内運動場	A	C	C	C	D	36
10		特別・普通教室棟	B	C	C	C	D	35
11		北教室棟	A	C	C	C	D	36
12		給食室	A	A	A	A	A	100
13		プール	C	B	C	C	D	40
14	北茂安小学校	講堂及び地域・学校連携施設	B	B	B	B	B	75
15		管理棟・普通教室棟	C	B	C	C	D	40
16		普通教室棟	A	B	C	C	D	44
17		特別教室棟	A	C	C	C	D	36
18		普通教室棟	A	B	C	C	D	44
19		プール	C	C	B	B	B	65
20	三根中学校	屋内運動場	B	B	A	A	A	93
21		校舎	B	B	A	A	A	93
22	中原中学校	玄関	A	B	C	C	D	44
23		屋内運動場	A	C	C	C	D	36
24		普通教室棟	A	B	C	C	D	44
25		特別教室棟	A	B	C	C	D	44
26		技術室棟	B	C	C	C	D	35
27		プール	B	C	C	C	D	35
28	北茂安中学校	特別教室	B	B	C	C	D	43
29		屋内運動場	B	C	C	C	D	35
30		特別教室棟	B	C	C	C	D	35
31		普通教室・管理棟	A	B	C	C	D	44
32		部室	C	B	B	B	B	73
33		普通教室棟	A	C	C	C	D	36
34		プール	C	C	B	B	B	65

第4章 劣化状況評価結果

1 給食センター

(1) 給食センター

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
1	学校給食共同調理場	S	2	776	2004	B	B	B	A	A	85

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	屋根の状況②
	

<所見>

築21年の鉄骨造の施設です。食品を扱う給食センターであり、衛生面に留意した施設で内部に大きな劣化等不具合はありません。外部には部分的な劣化、汚れが見られます。屋根は一部に錆などが発生している箇所があります。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

2 小学校

(1) 三根西小学校

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
2	普通教室・特別教室	RC	3	3,322	1980	A	C	C	C	D	36



<所見>

築45年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修済みで、大きな問題は見られません。また、外壁や土間に、大きなひび割れなどの劣化が見られますので、改修が必要だと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
3	室内運動場	RC	2	758	1987	B	C	B	B	B	67

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	基礎の状況
	

<所見>

築38年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は表面のシートの劣化が見られます。外壁の中で特に基礎にひび割れなどの劣化が見られます。床や壁にもひび割れや、表面劣化が見られます。

外壁については補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
4	プール	RC	1	1,165	1966	C	C	C	C	D	32

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外構の状況
	

＜所 見＞

築 59 年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。更衣室の庇に水が浸透した跡が見られます。外壁にひび割れなどの劣化が見られます。

プールサイドの床にもひび割れや、表面劣化が見られます。また、プール本体の塗装の劣化が見られます。

＜整備方針＞

水泳授業について、現在は町営プールを活用しているため、学校プールの整備・保全は行わず、将来的な取扱いとして、解体を含めた整理を検討します。

第4章 劣化状況評価結果

(2) 三根東小学校

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
5	管理棟	RC	3	927	1990	A	B	B	B	B	77

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築35年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありません。外壁に部分的なひび割れ、シーリングの割れなどの劣化が見られます。内部の床や壁にもひび割れや、表面劣化が見られますが、補修改修計画の策定は不要だと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
6	普通教室・特別教室棟	RC	3	2,496	1973	A	B	C	C	D	44

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築52年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありません。外壁に部分的なひび割れなどの劣化が見られます。外階段の基礎部で地盤の変形が見られます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
7	屋内運動場	RC	2	702	1972	A	B	C	C	D	44

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	基礎の状況
	

＜所 見＞

築 53 年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありません。外壁に部分的なひび割れ、剥がれなどの劣化が見られます。外階段の基礎部で地盤の変形が見られます。

＜整備方針＞

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
8	プール	RC	1	1,106	1962	C	C	C	C	D	32

全景	屋根の状況
	
基礎の状況	外壁の状況
	

<所見>

築63年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は更衣室の屋根の劣化が進行しています。更衣室周辺に地盤沈下が見られ、更衣室の基礎部が劣化しています。鉄柵に錆が多く見られます。

プールサイドの床にも大きなひび割れ及び剥がれが見られます。早い段階での補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。

<整備方針>

水泳授業について、現在は町営プールを活用しているため、学校プールの整備・保全は行わず、将来的な取扱いとして、解体を含めた整理を検討します。

第4章 劣化状況評価結果

(3) 中原小学校

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
9	屋内運動場	RC	2	1,192	1972	A	C	C	C	D	36

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築53年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありません。外壁に部分的なひび割れ、鉄筋露出や爆裂などの劣化が見られます。外階段の基礎部で地盤の変形が見られます。

<整備方針>

計画期間内では事後保全を行い、次期計画において改修工事を検討します。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
10	特別・普通教室棟	RC	3	3,985	1970	B	C	C	C	D	35

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

＜所見＞

築55年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。調査時、屋上防水は表面の防水シートが劣化が見られましたが、大きな問題はありません。外壁に剥がれ、ひび割れなどの劣化が広範囲に見られます。床や壁にもひび割れや、表面劣化が見られます。

＜整備方針＞

計画期間内では長寿命化工事を実施します。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
11	北教室棟	RC	3	1,990	1977	A	C	C	C	D	36

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築48年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は問題ありません。外壁には広域的にひび割れや塗装の剥離等の劣化が見られ、特にバルコニーについては著しいひび割れがあり、軒下には剥がれと鉄筋露出が見られます。令和6年度に耐力度調査を実施し、コンクリート強度の低下が見られます。

外壁については早い段階での補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。

<整備方針>

計画期間内では事後保全を行い、次期計画において改修工事を検討します。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
12	給食室	S	1	270	1977	A	A	A	A	A	100

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築48年の鉄骨造の施設です。屋上、外壁、内装とも大規模改修工事が実施されており、問題はありません。


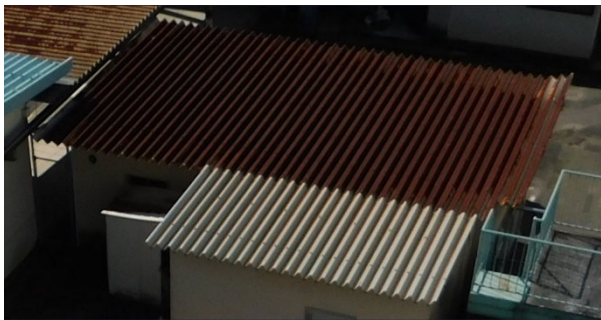


<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
13	プール	RC	1	1,204	1978	C	B	C	C	D	40

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	プールの状況
	

＜所見＞

築47年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は更衣室の屋根全面に錆が発生しています。フェンス下のブロックに経年劣化が見られます。プールサイドの床には所々ひび割れが見られます。

早い段階での補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。





＜整備方針＞

プールについては定期的に点検を実施し、安全確保の上、事後保全による対応を行います。

(4) 北茂安小学校

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
14	講堂及び地域・学校連携施設	RC	2	1,924	1991	B	B	B	B	B	75

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	軒下の状況
	

<所見>

築34年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は排水不良があり、排水溝周りの滞水跡が見られます。外壁は特に軒下にひび割れなどの劣化が見られます。床や壁にもひび割れや表面劣化が見られます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
15	管理棟・普通教室棟	RC	2	1,841	1963	C	B	C	C	D	40



<所見>

築62年を超えている鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上は防水シートのひび割れや、表面劣化が広範囲で見られます。外壁にひび割れなどの劣化が見られます。床や壁にもひび割れや、表面劣化が見られます。耐力度調査の結果により、健全性が基準値を下回っています。

早い段階での建替え計画の策定が望ましいと考えられます。

<整備方針>

計画期間内では解体し、計画・設計・建替え工事を実施します。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
16	普通教室棟	RC	3	1,407	1984	A	B	C	C	D	44

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	基礎の状況
	

＜所見＞

築41年以上の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は問題がありません。外壁や基礎に、ひび割れなどの劣化が見られ、軒下に染みが見られます。早期の補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。

＜整備方針＞

計画期間内では事後保全を行い、次期計画において改修工事を検討します。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
17	特別教室棟	RC	3	2,055	1982	A	C	C	C	D	36

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	軒下の鉄筋露出
	

<所見>

築43年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修済みで問題ありません。外壁に部分的なひび割れ、鉄筋の露出などの劣化が見られます。

内部の壁にはひび割れや表面劣化が見られます。補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。

<整備方針>

計画期間内では事後保全を行い、次期計画において改修工事を検討します。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
18	普通教室棟	RC	3	1,842	1983	A	B	C	C	D	44

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	基礎の状況
	

<所見>

築42年以上の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は問題がありません。外壁や土間にひび割れなどの劣化が見られ、基礎に亀裂があり、補修跡も広範囲で見られます。

早期の補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。

<整備方針>

計画期間内では事後保全を行い、次期計画において改修工事を検討します。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
19	プール	RC	1	1,275	1989	C	C	B	B	B	65

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築36年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は更衣室の屋根にかなり錆が発生しています。外壁にひび割れや白華が見られます。東側に地盤沈下が見られます。プールサイドや観覧席の床には所々ひび割れが見られます。プール本体の塗装も劣化しています。

<整備方針>

プールについては定期的に点検を実施し、安全確保の上、事後保全による対応を行います。

3 中学校

(1) 三根中学校

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
20	屋内運動場	RC	2	1,485	2006	B	B	A	A	A	93



<所見>

築19年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は防水シートの経年劣化が見られます。外壁にひび割れなどの劣化が見られます。

<整備方針>

特に早急な補修改修計画の策定は不要と考えられますが、改修の検討を行うことが望ましいと考えられます。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
21	校舎	RC	3	4,840	2008	B	B	A	A	A	93

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

＜所見＞

築12年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は排水不良のための水溜まりや防水シートの劣化が見られますが、早急な補修改修計画の策定は不要と考えられます。外壁に部分的なひび割れ塗装の剥離、白華などの劣化が見られます。

特に早急な補修改修計画の策定は不要と考えられます。

＜整備方針＞

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

(2) 中原中学校

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
22	玄関	RC	3	234	1975	A	B	C	C	D	44



<所見>

築50年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修済みで問題はありません。外壁に部分的なひび割れや白華などの劣化が見られ、雨樋の留め具は錆があります。補修改修計画の策定は必要だと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
23	屋内運動場	RC	2	1,447	1981	A	C	C	C	D	36

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

＜所 見＞

築44年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありません。外壁にひび割れの補修跡が多くみられ、鉄筋の露出も広域的に見られます。また、小さなひび割れも多く見られます。

改修計画の策定が必要だと考えられます。

＜整備方針＞

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
24	普通教室棟	RC	3	2,368	1975	A	B	C	C	D	44

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築50年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は実施済みで問題はありません。外壁に、部分的にひび割れ、鉄筋の露出や塗装の剥離等の劣化が見られます。内部の床や壁にもひび割れや、表面劣化が見られます。

補修改修計画の策定は必要だと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
25	特別教室棟	RC	3	2,520	1975	A	B	C	C	D	44

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	雨樋貫通部
	

＜所 見＞

築 50 年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修済みで問題はありません。外壁に、部分的にひび割れや塗装の剥離等の劣化が見られます。内部の床や壁にもひび割れや表面劣化が見られます。

＜整備方針＞

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
26	技術室棟	S	1	368	1979	B	C	C	C	D	35

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

＜所見＞

築46年の鉄骨造の学校施設です。屋根は経年劣化が見られます。外壁は鉄骨の基礎部が破損しており、早急な対応が必要だと思われます。


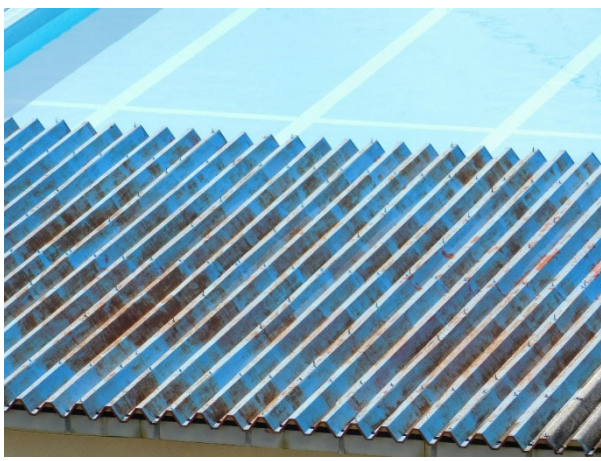


＜整備方針＞

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
27	プール	RC	1	1,256	1978	B	C	C	C	D	35

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	基礎の状況
	
<p>＜所見＞</p> <p>築47年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は錆が広く見られます。外壁にひび割れが見られます。また、鉄筋が露出しており、爆裂の補修跡もあります。プールサイドや観覧席の床には所々ひび割れが見られます。プールサイドの床にひび割れが見られ、塗装の劣化も進行しています。</p> <p>早い段階での補修改修計画の策定が望ましいと考えられます。</p>	
<p>＜整備方針＞</p> <p>プールについては定期的に点検を実施し、安全確保の上、事後保全による対応を行います。</p>	

(3) 北茂安中学校

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
28	特別教室	S	1	250	1970	B	B	C	C	D	43



<所見>

築55年の鉄骨造の学校施設です。屋上防水は、雨樋に枯葉が集積しており排水が困難になっています。外壁は基礎と犬走にひび割れが見られます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
29	屋内運動場	RC	2	1,263	1975	B	C	C	C	D	35

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築50年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は、概ね問題はありません。外壁は所々ひび割れ・鉄筋の露出や塗装の剥離が見られます。

補修改修計画の策定は必要だと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
30	特別教室棟	RC	3	946	1980	B	C	C	C	D	35

全景	屋根の状況
	
屋根の状況②	軒下の状況
	

<所見>

築45年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありませんが、浮きがあり、排水不良のため水溜まりができています。箇所があるため、対応が望ましいと思われます。外壁はひび割れの補修跡が多く見られ、鉄筋の露出もあります。内部の天井や壁にもひび割れや、表面劣化が見られますので、補修改修計画の策定は必要だと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
31	普通教室・管理棟	RC	3	2,132	1978	A	B	C	C	D	44

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築47年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありません。外壁はひび割れの補修跡が見られ、剥がれも見られます。また、犬走りにひび割れが見られます。内部の天井や壁にもひび割れや、表面劣化が見られます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
32	部室	S	3	300	1994	C	B	B	B	B	73

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

＜所見＞

築31年の鉄骨造の学校施設です。屋上防水は塗装の剥離が見られます。外壁は平成30年度に改修済みですが、所々塗装の剥がれやパネルの破れがあります。

＜整備方針＞

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
33	普通教室棟	RC	3	2,077	1979	A	C	C	C	D	36

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	基礎の状況
	

<所見>

築46年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は改修工事対応済みで問題ありません。外壁は塗装の剥がれやひび割れの補修跡が見られます。側溝の側面にひび割れが見られます。内部の天井や壁にもひび割れや、表面劣化が見られます。補修改修計画の策定は必要だと考えられます。

<整備方針>

定期的に点検を実施し、事後保全による対応を行います。

第4章 劣化状況評価結果

表 劣化診断結果

NO	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
34	プール	RC	1	1,040	1985	C	C	B	B	B	65

全景	屋根の状況
	
外壁の状況	外壁の状況②
	

<所見>

築40年の鉄筋コンクリート造の学校施設です。屋上防水は更衣室の防水シートにひび割れが見られます。また、雨樋に植物が繁殖し、排水を困難にしています。外壁にひび割れや鉄筋露出、白華が見られます。プールサイドや観覧席の床には所々ひび割れが見られます。プールサイドの床にひび割れが見られ、塗装もかなり劣化しています。

<整備方針>

プールについては定期的に点検を実施し、安全確保の上、事後保全による対応を行います。

第5章 学校施設整備の基本的な方針等

1 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 総合管理計画における個別基本方針

総合管理計画では下記の個別基本方針を掲げています。

- 将来の児童生徒数の予測を踏まえ、本町の学校教育方針や財政状況、地域の実情等を考慮した上で、延床面積数量等の最適化を図ります。数量の適正化においては、校舎が更新を迎える時期の児童生徒数のみならず躯体耐用年数間の変動を勘案し、増改築、用途変更、統廃合などに柔軟に対応できるようにします。
- 建築基準法第12条に基づく3年以内ごとの法定点検に加え、日常的な自主点検を実施し、老朽箇所の把握と安全性の確保を行います。
- 建築系の長期にわたる基本的な機能・性能あるいは安全性を維持していくために、計画的な改修、修繕等を実施し、適正に維持保全していく必要があります。そのため、様々な規模・内容の工事がある中で、大規模改修と部分改修を勘案し計画的に実施します。
- 建築物構造により異なりますが、躯体耐用年数（財産処分年数：鉄筋コンクリート造であれば60年）の間、学校施設として活用することを基準に考え、築30年前後に大規模改修工事を検討・計画して実施します。また、躯体耐用年数が残存10年未満のものより建替え・更新等を検討します。
- 老朽化が進んだ施設は、施設コストが増えることが予想されますが、予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ります。水道光熱費が割高の施設については、運用や設備における省エネ策を検討します。各施設に共通する業務委託における仕様の標準化や委託の包括化などの方法を検討しコストダウンを図ります。

総合管理計画における基本方針や施設類型別方針に即し、学校施設の長寿命化や維持・管理に関する基本方針を以下に定めます。

1. 児童・生徒の安全・安心を守る計画的保全と長寿命化の推進

児童・生徒が生活する場でもあることから、定期的な日常点検、必要に応じて劣化診断などを実施し、施設の状態や劣化状況の把握、危険・不具合箇所の早期発見に努めながら、劣化や危険性が認められた箇所については、出来るだけすみやかに修繕又は安全対策を実施します。

施設の更新については、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

また、適切な維持管理による財政負担の平準化及び計画的に予防保全的な部分修繕・改修を行うことにより、ライフサイクルコストの削減を図ります。

2. 施設保有量の最適化

今後、児童・生徒数の増減や分布に注視し、将来的には、必要に応じ適正規模・適正配置について検討します。

その際、地域の公民館といった社会教育施設、スポーツ施設等の地域の実状に応じた機能の再編についても検討します。

(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本町の小学校の規模は、小規模校 2 校、適正規模校 2 校です。中学校 3 校はすべて小規模校です。小学校、中学校とも過小規模校・過大規模校はありません。

本町の児童・生徒数は横ばい状態で推移しており、小学生に関してはやや増加傾向であり、学校によっては小規模化よりも適正規模校として維持することが考えられます。

学校は地域コミュニティの核となっており、近隣地区の人口変化を踏まえ、保護者や地域住民との合意のプロセスを大事にしながら、必要が見込まれる際配置検討を進めて行く必要があります。

第5章 学校施設整備の基本的な方針等

再編計画は、将来人口及び各学校の児童・生徒数の動向を見極め、学校施設の維持運営の健全化、地域コミュニティ体系の維持などを総合的に鑑みながら、その時世や社会情勢に適した計画の検討を進めていきます。

表 学校別の普通学級数による分類

	過小規模校 5学級以下	小規模校 6~11学級	適正規模校 12~18学級	大規模校 19~30学級	過大規模校 31学級以上
小学校	-	三根東小学校 三根西小学校	中原小学校 北茂安小学校	-	-
	過小規模校 2学級以下	小規模校 3~11学級	適正規模校 12~18学級	大規模校 19~30学級	過大規模校 31学級以上
中学校	-	中原中学校 北茂安中学校 三根中学校	-	-	-

学校規模の分類は、公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引より設定

2 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化の方針

厳しい財政状況の下では、従来の改築を中心とした老朽化対策では、対応しきれない施設が大半です。中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図ります。

なお、改築せざるを得ない建物があった場合には、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。

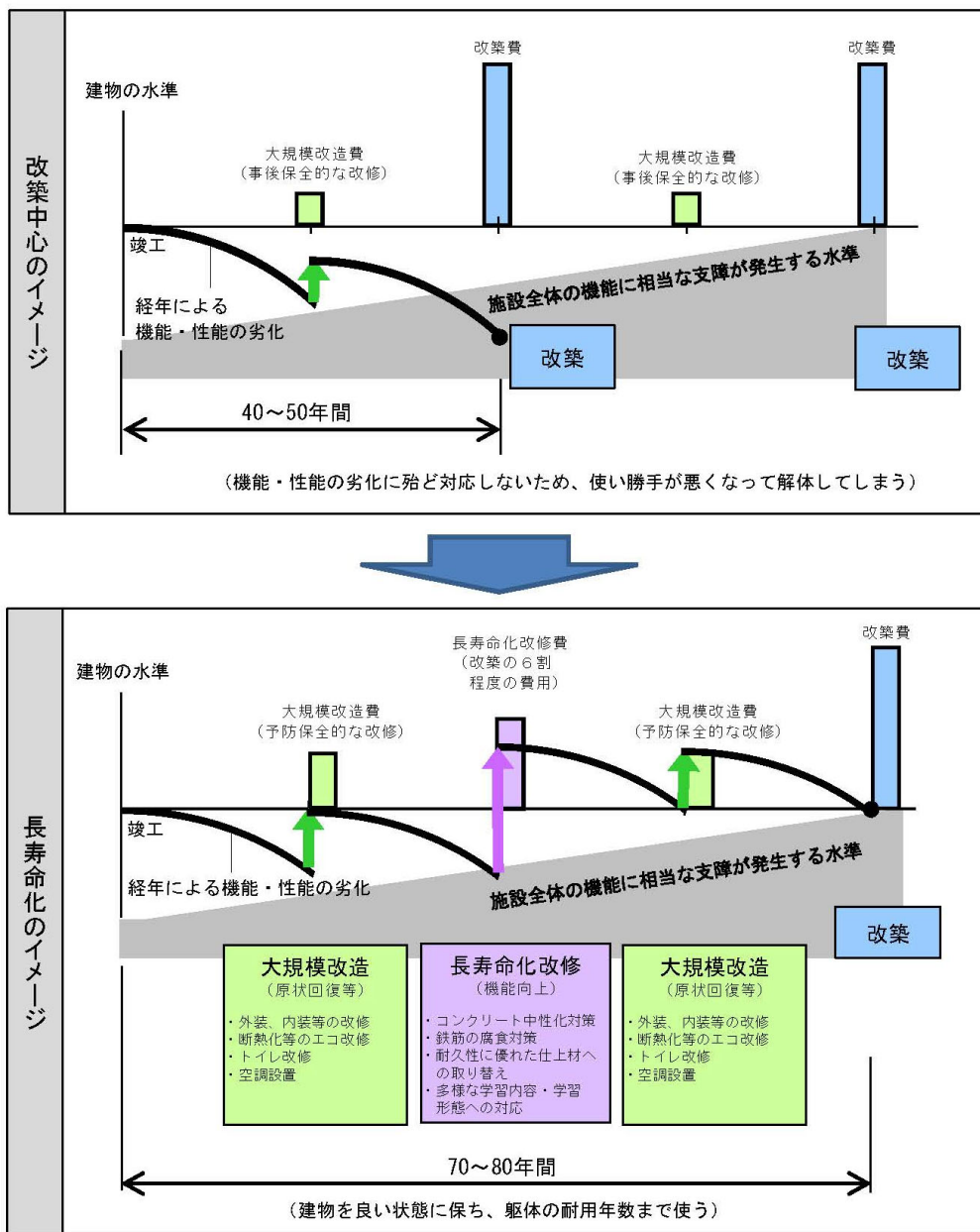


図 改築中心から長寿命化への転換イメージ

(2) 予防保全の方針

建物は、屋根や外壁などの劣化や破損への対応を対処療法的に行うと、建物の骨格部である躯体や電気・機械設備の損傷につながり、建物全体の寿命を縮める要因となってしまいます。

これまで、本町ではこうした「事後保全」を行ってきましたが、今後は、建物をできる限り長く使うため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのためには、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけではなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図る「予防保全」を導入します。

また、「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させ、施設の不具合による被害のリスクの緩和や、改修、日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げることに努めます。

保 全	建築してから改築するまでの間、性能・機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。 保全のための手段として、点検・診断・改修等がある。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全方法。
予防保全	損傷が軽微な早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う予防的な保全方法。また、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う。

(3) 目標使用年数、改修周期の設定

① 耐用年数の設定について

建築物の寿命は、構造、立地条件、使用状況の違い等によっても大きく左右されますが、階高や広さ等に余裕を持った建築物や新耐震基準施設（1981年以降建設の施設）は、計画的な保全を実施すれば100年以上も長持ちさせることができる可能性もあります。

しかし建築物は、老朽化による物理的な耐用年数だけではなく、経済的、機能的な観点から建替えや解体されることもあり、総合的な観点から目標耐用年数を設定します。

下表要因のうち「①法的要因」については耐用年数が示されていますが、「②物理的要因」については、施設の利用目的に応じて様々な年数が設定されています。「③建築物特性要因」については特に設定はなく、個々の施設の特性・機能、設置場所、社会的な要求、利用頻度、経済性等の建築物を取り巻く環境による要因が使用年数を決めるものとなります。

表 耐用年数決定の要因

耐用年数決定の要因		内容
①法的要因		固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた年数。
②物理的要因		建築物躯体や構成材が経年劣化等自然的原因、物理的あるいは化学的原因により劣化し、要求される限界性能を下回り、建築物が滅失する年数。一般的には、事前に自然崩壊する前に解体され、更新することになる。
③建築物特性要因	1) 機能性	使用目的が当初の計画からの変更や、建築技術の革新や社会的要求の向上による機能の陳腐化もしくは、新たな要求が求められ、建築物の形態、構造等新しい要求に対応できない場合は、機能的な寿命に達したと判断し、更新することになる。
	2) 経済性	建築物の機能が低下していく中で、不具合や故障が発生するため、事前にもしくは事後にその復旧を行う必要が発生する。不具合や故障の程度、頻度により、継続使用するための修繕費その他費用が、更新費用を上回り復旧する方が高額と見込まれる場合は、解体され、更新することになる。

※耐用年数の長さは、一般的には①<③<②となる。

【①法的要因による耐用年数の決定】

減価償却資産の耐用年数に関する省令により、構造別に耐用年数が設定されています。

表 法的要因耐用年数

鉄筋コンクリート造 (最大)	木造 (最大)	鉄骨造 (最大)	その他 (最大)
50年	24年	38年	41年

参考：減価償却資産の耐用年数に関する省令

【②物理的要因から決める耐用年数の決定】

鉄筋コンクリート構造においては次表のとおり、「建築工事標準仕様書・同解説鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）」による鉄筋コンクリートの目標使用年数により、目標となる耐用年数が設定されています。

表 耐用年数

一般的な耐用年数	根拠
鉄筋コンクリート構造 65年	日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説鉄筋コンクリート工事」による鉄筋コンクリートの目標耐用年数

また、「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）」で示されている用途別・構造別の目標耐用年数を参考に、建築物の望ましい耐用年数が設定されています。

表 建築物用途・構造に応じた望ましい目標耐用年数

用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			木造
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	高品質 の場合	普通の品質 の場合	軽量鉄骨	
学校・官庁	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上
住宅・事務所・病院	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y40以上
店舗・旅館・ホテル	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y40以上
工場	Y40以上	Y25以上	Y40以上	Y25以上	Y25以上	Y25以上

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

以上のことから適切な維持管理がなされることを前提に、前述の構造躯体の健全性の評価結果等に基づき、本町の学校施設の目標使用年数を次頁のように設定します。

【表 みやき町学校施設の目標耐用年数】

鉄筋コンクリート造 (長寿命化対象)	鉄筋コンクリート造 (長寿命化に不適)	木造	鉄骨造	その他
85年	65年	50年	50年	50年

また、建築物を構成する部材には使用部位や材質に応じた耐用年数の目安があり、計画的に更新することが建築物の機能を維持しながら寿命を延ばすことにつながります。一般的に建築物の外部塗装や屋根（シート防水）、設備は15～20年での更新が望ましいことから、15～20年を一単位として改修・改築の周期を定めます。

② 設備等の改修周期の設定

設備等の改修時期については、下記改修周期を設定します。特に受変電設備を構成する電気機器には、更新時期が異なり、10～15年程度の短期で更新する必要がある機器があります。（高圧ケーブル、高圧開閉器、高圧コンデンサ等）

経年劣化や汚れ等により絶縁抵抗が低下し、電気事故の発生や電気の供給不能となるおそれが高まり、万が一、事故や故障等が発生しても、受変電設備の機器の多くは、在庫等が少なく、調達に期間がかかることから、すぐに復旧できない可能性が高く、施設等の運営に多大な影響を与えるおそれがあります。よって予防保全として電力供給の信頼性を確保することが重要です。85年供用を考慮した場合は原則として下記にならうものとします。

表 85年供用を考慮した改修周期における設備改修保全内容

整備内容 \ 経過年数	0	10	20	30	40	50	60	70	80～85
内装、配管、配線			○		●		○		
空調機器、熱源		○	●	○	●	○	●	○	
衛生器具、空調ダクト			○		●		○		
受変電設備		●	○	●	○	●	○	●	
昇降機				●			●		
照明設備、防災設備			●		●		●		

●：全面改修または更新 ○：点検・オーバーホール

第6章 基本的な方針等（第5章）を踏まえた施設整備の水準等

1 改修等の整備水準

把握した現在の劣化状況を踏まえ、学校施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

建築物の外部・内部仕上げ、設備等の経年による劣化や機能の低下を改修により改善を図ります。改修の内容は各建築物により築年数や老朽化の部位と程度が異なることから、劣化状況調査の結果を踏まえ、今後の改修整備においてどのレベルまでの整備水準を確保するのかを部位別に検討し、本町の学校施設整備水準の統一性を図るものとします。また、コストとの関連付けを図ることにより最適な仕様を設定します。

以下に、長寿命化改修において具体的な整備内容を提示し、また、改修する際には“①耐久性を高めるもの”（建築物内部・設備）、“②現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの”（内部・設備）、“③多様な学習内容・学習形態への対応”（学習環境の多様化・安全安心な施設整備）に区分し、整備水準表を示します。

表 整備内容

項目	整備内容
<p>安全性・耐用性を確保・維持するための改修 構造体の長寿命化や内・外装仕上等の改修、設備の更新や必要な防災・防犯機能の付加等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 構造体（クラック、鉄筋補修等） ● 外装（屋上防水、外壁仕上材、浮き補修等） ● 内装（床、壁、天井、間仕切り改修等） ● 非構造部材の耐震対策（照明、音響、棚等） ● 防災機能 ● 防犯対策・事故防止対策
<p>機能性・快適性を確保・維持するための改修 機能性や快適性等、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、必要な社会ニーズに応じた機能付加等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習環境（ICT化、多目的スペース、少人数指導空間、木質化等） ● 電気・機械設備（照明、空調、給排水改修等） ● バリアフリー対応（エレベーター、スロープ、手すり設置等） ● トイレ改修（多目的トイレ、洋式化、ドライ化等）
<p>環境面を確保・維持するための改修 断熱や遮音等による環境面の向上や省エネ化によるコスト削減等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 断熱性能（壁、開口部等） ● 遮音性能（壁、開口部等） ● 省エネルギー化（LED、太陽光発電等）

第6章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

表 適用を検討する整備水準

部位		建設当初の標準仕様 (低)	改修工事の整備水準 (長寿命化改修)	省エネ型の改修 (高)	修繕レベル	
<整備レベル>						
①耐久性を高めるもの						
外部 仕上げ	屋根・屋上	アスファルト防水	かぶせ工法によるシート防水	外断熱シート防水(t-25) 外断熱保護防水(t-20)	クラック補修 浮き部補修	
		シート防水	シート防水貼替			
		スチール鋼板屋根	塗膜防水			
		瓦葺屋根	割れた瓦の葺替え			
	鉄筋コンクリート躯体	※構造体の劣化状況調査	躯体の状況に応じた適切な補修		ひび割れ補修工法、中性化抑止工法、断面修復工法、鉄筋腐食補修	
	鉄骨構造体				錆び補修	
外壁	RC部	モルタル下地外装薄塗材E(リシン吹付)	耐久性を高める塗装材 (防水型複層塗材)	内断熱	複層塗材	
	鉄骨部	外壁ボード塗装(複層薄塗材)	セメントボード葺替え			
外部 開口部		アルミサッシ スチールサッシ・スチール扉	危険箇所の落下防止対策 既存サッシのガラス交換(複層 ガラス等) ガラス飛散安全対策 塗装	サッシ交換(カバー・はつり工 法)(複層ガラス)	シーリング打替え 開閉調整 塗装	
②現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの						
内部 仕上げ	各室	内装材	一般材料(EP塗装)	空気汚染物質を発生させない材 料に更新	内装の全面撤去・更新(木質化)	
		換気設備	自然換気	機械換気		
	教室 (廊下)	間仕切壁	スチール枠・アルミ枠・木製扉	木製建具等		
		床	Pタイル、シート床、フローリングブロック	床補修、教室内の段差解消、適 切なスロープ設置	床の全面撤去・更新(木質化)	
		出入建具	木製扉	フローリング塗装、 木製建具		
	階段室	防火戸	防火戸(建設時の基準法)	防火戸の改修		
	トイレ	床	ウェット式(タイル仕上)	ドライ式(抗菌シート)、 段差解消		ウェット(部分タイル張り替え)
衛生器具		和式便器、一般型小便器、水栓	洋式便器、 節水型小便器、自動水栓	節水型小便器、自動水栓(節水 型器具の導入)	衛生器具交換	
照明設備		手動照明	自動照明	自動照明		
設備	電気設備	照明設備	蛍光灯	LED照明	LED照明(人感センサー、照度 センサー付)太陽光発電、太陽 熱給湯	蛍光灯(照明器具交換)
	給排水設備	給水	直結増圧給水方式 ライニング鋼管	硬質塩化ビニール管による 配管の更新	雨水・中水利用、排水再利用	
	空調設備	冷・暖房	ヒートポンプ式エアコン設置 (教室・管理教室)		ヒートポンプ式マルチエアコン	
③多様な学習内容・学習形態への対応						
学習環境の多様化		対応なし	ICT [*] 環境の設備			
内部	バリアフリー	スロープ等に手すり設置、案内板・カウンター設置、誘導ブロック設置、車椅子対応駐車場		多目的トイレの設置、乗用エレベーター設置		
	アスベスト	アスベスト封じ込め	アスベスト撤去			
	防災	非常用自家発電設備、災害時飲料用受水槽(20t)FRP製				
	防犯	玄関のモニター付インターホン、管理室～教室用インターホン、防犯カメラ				

※表に示す仕様は水準であり、実際に適用する際は、個別の状況に応じて改修内容を検討します

2 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

本計画における長寿命化計画の対象建築物の維持・更新コストについて、文部科学省提供の試算ソフトにより、長寿命化を前提として試算した場合の結果は、以下のとおりです。

今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で 322 億円と試算され、1 年あたり約 8.1 億円の維持・更新コストが必要になると試算されます。

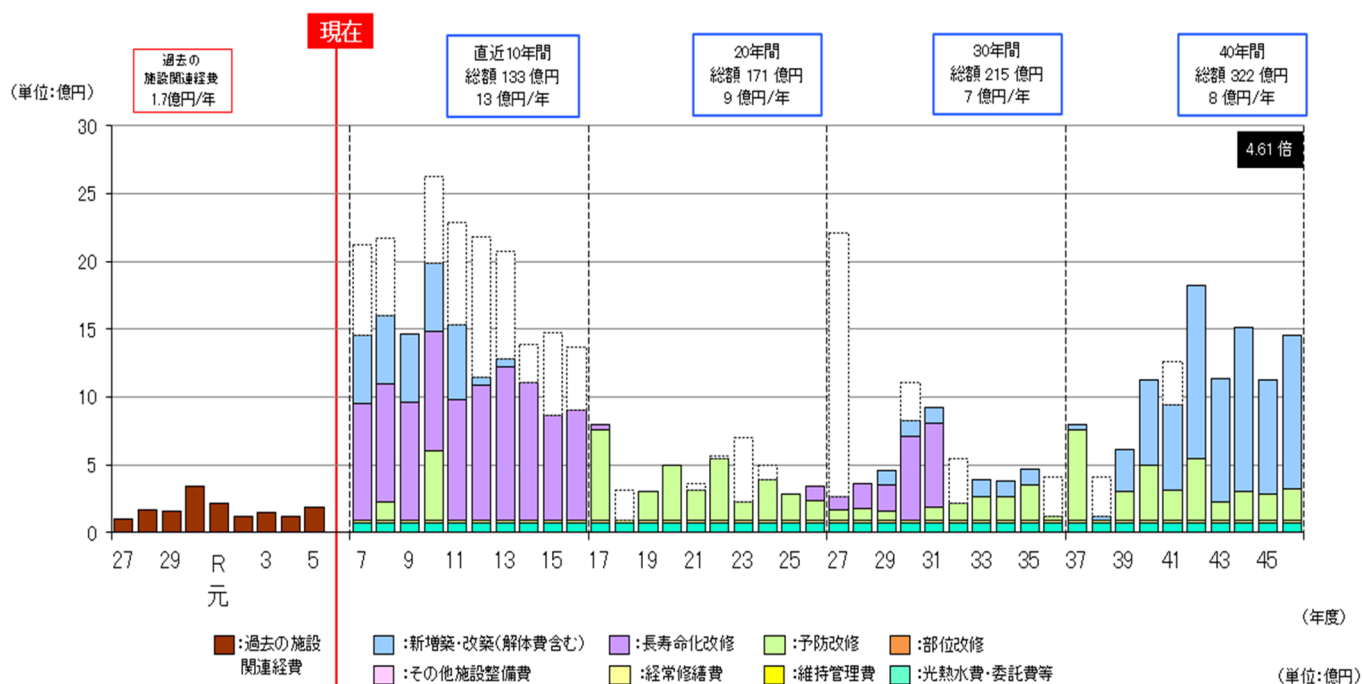


図 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

（設定条件）

更新周期：85年

改築単価：43万/㎡

長寿命化工事：40年周期 ただし40年超過しているものは10年以内に実施

大規模改修：20年周期

工事期間：1年

部位修繕			
D評価：	今後	5	年以内に部位修繕を実施
C評価：	今後	10	年以内に部位修繕を実施
（ただし、改築・長寿命化改修・大規模改修を今後10年以内に実施する場合を除く）			
A評価：	今後	10	年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

3 維持管理の項目・手法等

(1) 維持管理の必要性

学校施設は、児童・生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時の避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うため、十分な安全性・機能性の維持が求められます。そのため、教育委員会と学校の教職員がそれぞれの立場に応じて点検を行い、必要に応じた修繕や改修を行います。

日常的な点検や臨時点検は学校の教職員等で行い、法定点検は建築基準法等で定められた点検項目を、専門的な知識を持った有資格者が一定の期間ごとに点検を実施します。

(2) 点検・清掃等の実施方針

本町では施設管理のための専属技術者を配置しておらず、高度な点検を実施するのは困難であるため、日常の修繕等を丁寧に行い、劣化の進行を防ぐことが重要です。

また、数値だけでは判断できない劣化状況等も含めて情報共有・管理することで、すべての学校施設の中から緊急度の高い施設には修繕予算を配分できるようにします。日常管理として以下の項目について定期的な点検及び清掃等を実施します。

表 建築点検・清掃項目

点検分野	項目	内容
日常維持管理のための点検	清掃	・ 汚れの除去、予防により仕上材を保護し、快適な環境に保つための作業
	保守	・ 点検結果に基づき、建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の交換、注油、塗装、その他これらに類する軽微な作業
	日常点検	・ 目視、聴音、触接等の簡易な方法により、巡回しながら日常的に行う点検 ・ 機器及び設備の異常、兆候の発見
定期的な維持管理のための点検	自主点検	・ 機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画の作成
	法定点検	・ 自主点検では確認できない箇所や、法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検
臨時的な維持管理のための点検	臨時点検	・ 日常、定期点検以外に行う臨時的な点検 ・ 建築物等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭、その他の異常の有無を調査し、保守又はその他の措置が必要か否か判断

(3) 点検・評価結果の蓄積

学校施設の予防保全に取り組む上で、建物の定期的な点検により老朽化の状況を把握し、改修履歴を含めた施設の情報データベース化します。データベースは、随時更新していくことにより、長寿命化を図るための改修を計画的かつ円滑に行います。

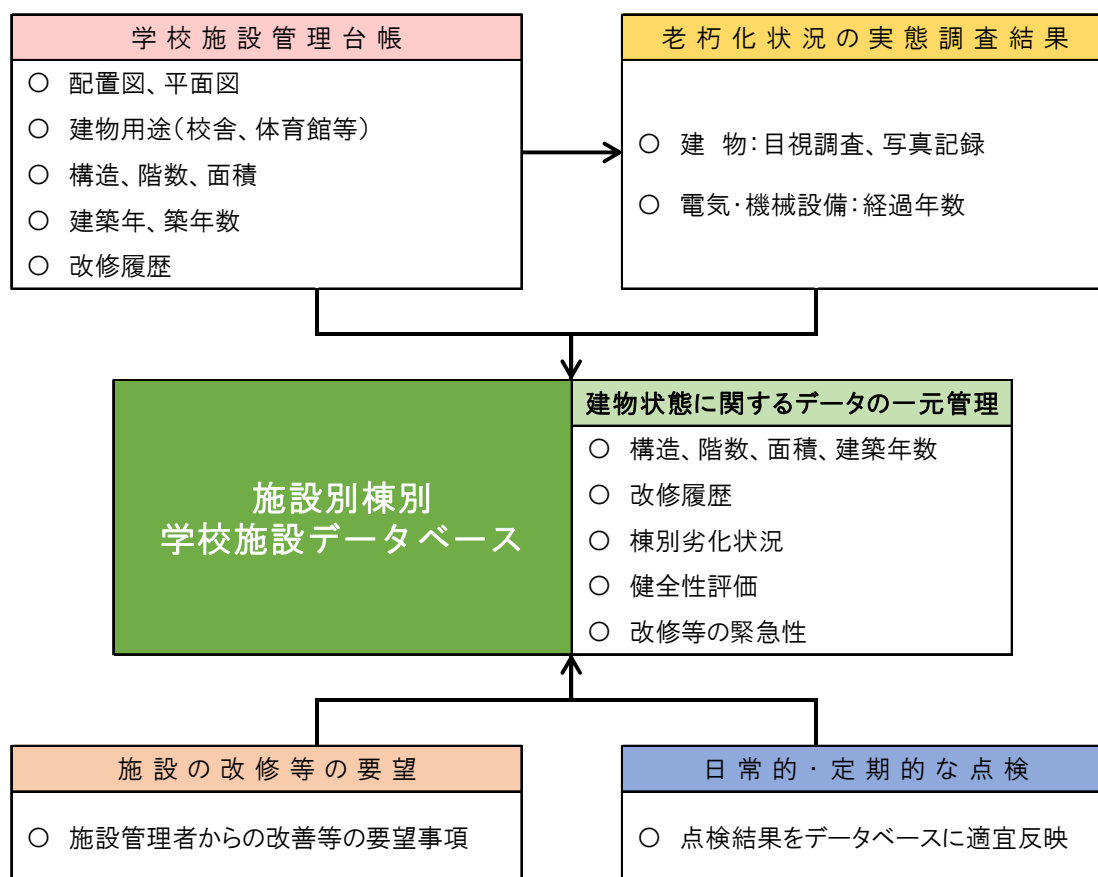


図 データベース化のイメージ

4 みやき町新しい教育環境づくりに係る基本方針について

令和7年度に行った「みやき町新しい教育環境づくり検討委員会」からの答申を踏まえ、教育委員会として基本方針を定めました。

1 中原小学校及び北茂安小学校について

- (1) 両校については、現在、適正な規模及び配置が保たれており、今後も当面は児童数がほぼ横ばいで適正規模校を維持していく見込みであることから、統合・再編は行わず現行どおりとする。
- (2) 両校の既存施設の一部は、経年による劣化が進行している状況であり、児童が安全・安心かつ快適な学校生活を送ることができる環境整備が急がれることから、令和6年度に実施した耐力度調査の結果を踏まえ、
 - 中原小学校については、南校舎の長寿命化のための大規模改修
 - 北茂安小学校については、北校舎の改築以上のとおり実施すべく、速やかに計画を立案する。
- (3) 両校のその他の校舎等については、特別支援学級に在籍する児童数の増加傾向を踏まえながら、学校機能の継続・充実を図るとともに、適宜、長寿命化対策を講じることとする。

2 三根東小学校、三根西小学校、中原中学校、北茂安中学校及び三根中学校について

これら各校については、保全対応を講じながら、みやき町新しい教育環境づくり検討委員会における調査及び審議を継続していただくこととする。

第7章 長寿命化の実施計画

1 改修等の優先順位付け

施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、当該施設の機能、生徒数、重要性等、対策を実施する際に考慮すべき事項を設定の上、それらに基づく優先順位の考え方を明確化する必要があります。改修の優先順位は下記のとおりとします。

(1) 安全性に不安がある棟

築年数が50年以上経過している中原小学校の特別・普通教室棟と北茂安小学校の管理棟・普通教室棟は安全性を確認するため、耐力度調査を行いました。その結果に基づき対策を行います。また、施設の安全安心の確保のため、直接的被害につながるような外壁落下対策等が必要な棟については優先的に改修・修繕等を行います。(D判定)

(2) 建築物の機能維持に改修が必要な棟

建築物としての機能を維持するために、屋根・屋上等の対策や外壁等のひび割れ対策が必要な棟については、優先的に改修・修繕等を行います。(C判定)

(3) いつ故障してもおかしくない状況にある設備

新築以来、更新をしていない設備で改修周期をはるかに超えている設備など、いつ故障してもおかしくない状況にある設備は改修・修繕等を行います。

特に電気設備は施設利用に大きく影響するため、計画的な更新が必要です。

表 検討項目と優先度

検討項目	優先度 (実施時期)
【安全性に不安がある施設】 直接的被害につながるような安全対策工事	最優先で実施 (直ちに計画)
【建築物の機能維持に改修が必要な施設】 漏水等、施設の基本的機能に支障が発生する可能性がある劣化対策工事	優先的に実施 (1～3年程度)
【いつ故障してもおかしくない状況にある設備】 改修周期を超えて更新等がされていない老朽化した電気設備や機械設備の更新対策	優先的に計画 (5年程度)
上記いずれにも該当しない	別途検討

2 実施方針

(1) 中原小学校及び北茂安小学校

両校については、現在、適正な規模及び配置が保たれており、当面は児童数がほぼ横ばいで推移し、適正規模校を維持していく見込みです。しかし、既存施設の一部は、経年による劣化が進行している状況であり、児童が安全・安心かつ快適な学校生活を送ることができる環境整備が急がれることから、令和6年度に実施した耐力度調査の結果から、上記2校については次の実施方針とします。

- ・ 中原小学校一南校舎（特別・普通教室棟）の長寿命化のための大規模改修
- ・ 北茂安小学校一北校舎（管理棟・普通教室棟）の改築

両小学校のその他の校舎等については、特別支援学級に在籍する児童数の増加傾向を踏まえながら、学校機能の継続・充実を図るとともに、適宜、長寿命化対策を講じます。

(2) 三根東小学校・三根西小学校・中原中学校・北茂安中学校及び三根中学校

これらの各校については、保全対策を講じながら、みやき町新しい教育環境づくり検討委員会における調査及び審査を継続していきます。

3 実施計画

(1) 安全性に不安がある棟

耐力度調査結果により、北茂安小学校の北校舎（管理棟・普通教室棟）は基準値を下回り、耐力度不足の判定となったため改築を行います。また、簡易劣化調査において、直接人的被害につながるような対策が必要な棟に該当する棟（D判定）はありませんでした。

(2) 建築物の機能維持に改修が必要な棟

耐力度調査を行った中原小学校の南校舎（特別・普通教室棟）は基準値以上の安全と判定されたため、建物の長寿命化による延命化を図ります。中原小学校の屋内運動場と北教室棟及び北茂安小学校の特別教室棟については、今回の簡易劣化調査でC判定となっており、次期計画期間に向け長寿命化対策を講じます。

(3) いつ故障してもおかしくない状況にある設備

設備については、普通教室に空調が新設され、その際に受変電設備も更新されています。また、電気配線や給排水管の更新を行う際には、長寿命化改修との同時施工を検討します。

4 後期計画期間内の整備内容

本計画期間内の整備については、耐力度調査、老朽化状況調査及びみやき町新しい教育環境づくり検討委員会を踏まえ、下記に示す改修内容表のとおり実施します。

北茂安小学校－北校舎（管理棟・普通教室棟）は2026年度から基本計画に取り掛かり、基本・実施設計を経て改築工事を行います。

中原小学校－南校舎（特別・普通教室棟）は北茂安小学校と同じように2026年度に基本計画、その後基本・実施設計を経て長寿命化改修工事を行います。

表 改修内容

(1) 安全性に不安がある棟			
学校名	棟名	No.	理由
北茂安小学校	管理棟・普通教室棟	15	耐力度不足 改築
(2) 建築物の機能維持に改修が必要な棟			
学校名	棟名	No.	理由
中原小学校	屋内運動場	9	外壁 C判定 次期計画
中原小学校	特別・普通教室棟	10	外壁 C判定 長寿命化
中原小学校	北教室棟	11	外壁 C判定 次期計画
北茂安小学校	特別教室棟	17	外壁 C判定 次期計画
(3) いつ故障してもおかしくない状況にある設備			
長寿命化計画と同時に改修			

※ 太字は耐力度調査を実施した建物

第8章 長寿命化計画の継続的運用方針

1 情報基盤の整備と活用

策定した実施計画の見直し等を行うため、学校施設の状況や過去の改修履歴等をデータとして蓄積し、確実に更新することが重要となります。

以下の情報を適切に管理し、学校施設の状況を把握することで、改修内容や改修時期について総合的に判断します。

各情報データは、施設状況に変更が生じた際や調査、報告が行われた際に適宜更新するほか、毎年度、更新の有無を含め、内容を確認します。

必要な情報管理

- 学校施設台帳・・・学校施設の基本情報、大規模改造事業等の履歴
- 学校施設工事履歴・・・改修・修繕工事の履歴
- 学校資料集データ・・・学校施設に係る各種詳細情報（財産、仕様、設備等）
- 修繕工事要望・・・各学校からの修繕要望
- 本計画における劣化状況調査結果・・・施設の劣化状況、相対的な老朽度の評価

2 推進体制等の整備

本計画策定後も、学校施設の老朽化は進行し状況は変化していきます。また、学校施設に求められる機能や水準も変わっていくことが考えられます。

これら学校施設の状況を的確に把握するためには、学校や教育委員会各課、点検等実施業者との連携が重要であるほか、課題解決に向け、財政課などとの連携も欠かせません。本計画に基づき長寿命化を確実に実施するため、関係部署との連携をより一層図り、推進体制を充実させていきます。

3 フォローアップ

安全で快適な教育環境を維持するためには、継続的な学校施設の維持管理や改修が必要となり、財政支出面で大きな負担となります。国庫補助事業等を最大限に活用し、財政支出の縮減を図ります。

4 フォローアップの推進

今後、本計画に基づくフォローアップを実施し、適宜の見直しと内容の充実を図っていくものとし、今後の財政状況や社会環境の変化があった場合に計画の見直しを行います。

推進計画の定期的な検証と見直しにあたっては、推進計画の策定 (Plan)、アセットマネジメントの取組みの実施 (Do)、実施結果の検証 (Check)、推進計画の見直し (Action) といった、PDCA のマネジメントサイクルに基づいて実施し、次期計画期間に更新時期を迎える公共施設の複合化等についても、合わせて検討を行います。実施結果の検証では、推進計画の進捗状況の評価や施設老朽化度の判定等、取組みにより、目標とする成果が現れているかといった視点での検証を行います。

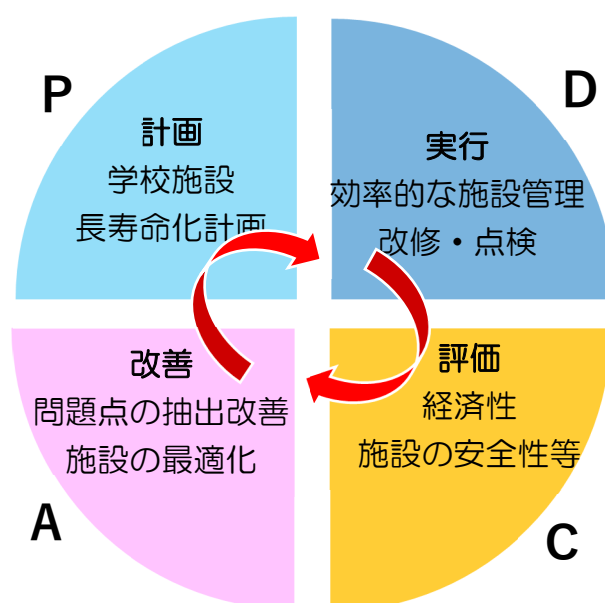


図 PDCA サイクルイメージ

